

◆商品マスターの一括削除の方法

(画面例はすべて『PCA 商魂・商管×EasyNetwork』を使用しています)

通常、「伝票等で使用中の商品」は削除することができませんが、「データ保守」の「商品マスターの一括削除」の機能を使用すると、削除用コードに置き換えることによって削除することができます。

【注 意】

- この処理は商品のマスター区分 [0：一般商品] だけが対象となり、[0：一般商品] であれば商品の使用区分 [1：禁止] であっても対象です。
- 伝票データで使われている商品を削除する場合、伝票明細の品名や金額はそのまま、商品コードのみ [置換後の商品] で指示した商品コードに置き換わります。「繰越在庫数」や月次資料の作成にも使われる月次データも、[置換後の商品] に集約されます。
ただし、以下の商品関連のマスターについては、削除商品 (置き換えて消える商品) は置換されるのではなくマスター内から削除されますのでご注意ください。
セット商品マスター・部品展開マスター・得意先別単価マスター・仕入先別単価マスター・
期間単価マスター・得意先別期間単価マスター・数量別単価マスター・
得意先別数量別単価マスター・数量別期間単価マスター・得意先別数量別期間単価マスター
- [置換後の商品] に集約されたデータは元に戻すことはできませんので、操作の前に、必ずデータのバックアップを実行してください。

【操作手順】

- ① 不要になった商品と置換するための商品 ([置換後の商品]) を登録します。
「前準備」－「商品」－「商品の登録 (個別式)」にて [新規] ボタンをクリックし、商品コードや品名など必要な項目を入力して [登録] ボタンをクリックします。商品コードは、集計や表示に含まれないよう普段使わないコードを付けるようにしてください。

例) 商品コード：ZZZZ 品名：削除用商品

商品の登録 (個別式)

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 更新 新規 修正 入力前 複写 前移動 次移動 削除 入力項目 一覧 履歴 ヘルプ

新規

商品コード ZZZZ
商品名 削除用商品
商品名2
商品コード2
商品コード3

使用区分 0:許可
有効期間

基本 コメント

商品分類	0000	標準価格	0
メーカー	0000	原価	0
商品区分3	0000	売価1	0
商品区分4	0000	売価2	0
商品区分5	0000	売価3	0
		売価4	0
		売価5	0
		仕入単価	0

初期値設定項目

システム区分 0:共用
マスター区分 0:一般商品
在庫管理 0:管理する
実績管理 0:管理する
税区分 2:8.0%課税
税込区分 0:税抜価格
単価小数桁 0:整数のみ
入数小数桁 0:整数のみ
箱数小数桁 0:整数のみ
数量小数桁 0:整数のみ
数量端数 0:切捨て
売上計算式/仕入計算式
使用しない
使用しない

倉庫 0000 共通倉庫
主任入力先

単材積 0
本数 0
商品項目3 0

全角18文字 (半角36文字) 以内で入力してください。

- ② 「ファイル」－「データの保守」を起動し、[商品マスターの一括削除] を選択します。
- ③ [置換後の商品] 欄で、①で登録した商品コードを選択します。

データの保守

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 実行 ヘルプ

保守メニュー

- 残高の締切
- 月次実績の再計算
- 在庫数の再計算
- コードの桁数変更
- コードの一括変更
- 見積伝票の削除
- 受注伝票の削除
- 発注伝票の削除
- 月次データの削除
- データの削除
- 商品マスターの一括削除**

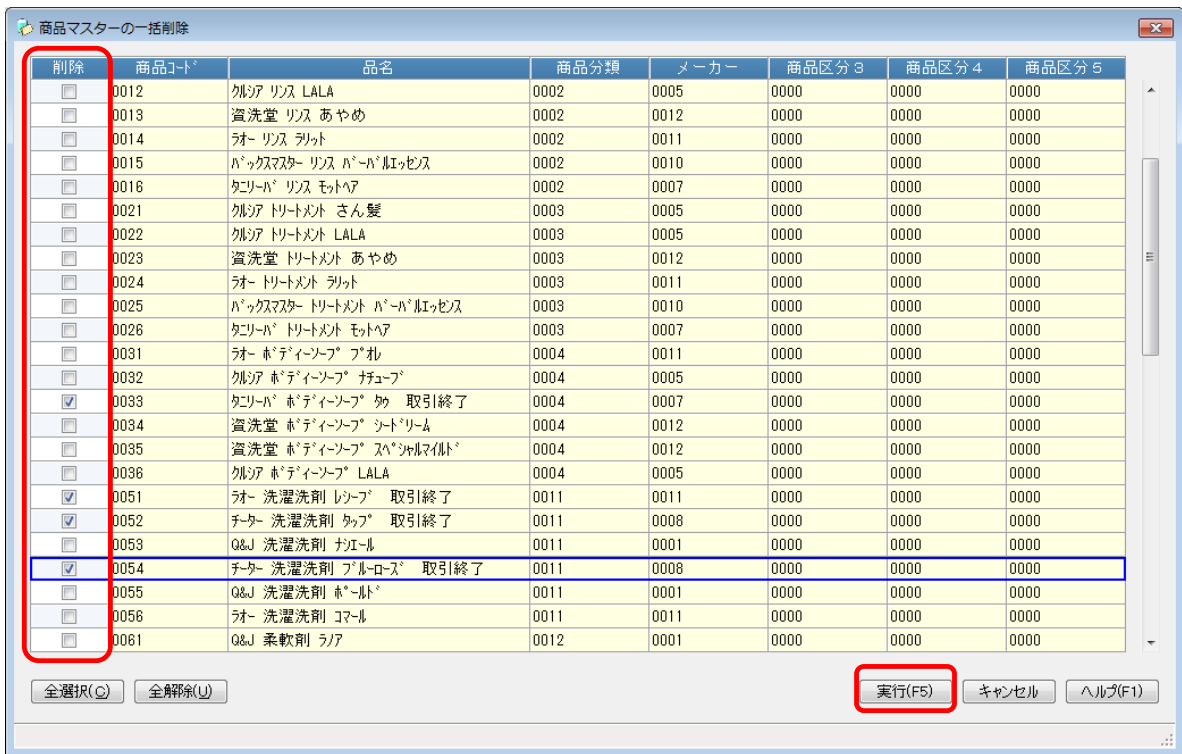
置換後の商品(A) ZZZZ 削除用商品

検索条件(B)

商品コード ~
品名
商品コード2 ~
商品コード3 ~
商品分類 ~
メーカー ~
商品区分3 ~
※指定なし
※指定なし
登録変更期間 ~
 選択項目のロック(L)

通常、伝票で使われている商品の削除はできませんが、本機能ではそれを可能にしています。削除した商品を使っている伝票上の商品コードは、「置換後の商品」で指定したコードに書き換えます。条件入力後、「実行」ボタンを押すと対象商品が一覧表示されます。一覧画面で削除する商品を選択して削除処理を実行します。

- ④ 必要に応じて条件を入力後、[実行] ボタンをクリックすると警告メッセージが表示されます。
バックアップを行っていない場合や、処理をキャンセルする場合は [いいえ] ボタンをクリックします。
処理を続行する場合は [はい] ボタンをクリックします。
- ⑤ 対象商品が一覧表示されますので、削除したい商品にチェックを付け [実行] ボタンをクリックします。



この操作により、削除した商品を使用していた伝票の商品コードは [置換後の商品] 欄で指定した商品コード：ZZZZに書き換えられ、⑤で選択した商品コードは削除されます。